

薬局における後発医薬品の使用状況調査結果概要

令和7年(2025年)2月14日
滋賀県健康医療福祉部薬務課

1 調査目的

滋賀県では、患者および医療関係者が安心して後発医薬品を使用することができる環境を整備するため、平成20年度から後発医薬品安心使用推進協議会を設置し、協議している。

本県における後発医薬品の令和6年3月の数量シェアは85.6%(全国は85.3%)であり、目標の80%以上は維持できている。令和6年9月に厚生労働省が「後発医薬品の使用に係るロードマップ」を改訂され、後発医薬品の金額シェアおよびバイオシミラーの数量シェアを副次目標として追加された。そのため、現在の県内の使用状況を把握することを目的としてアンケート調査を実施した。

2 調査方法

(1)対象施設:県内全薬局(681施設)

(2)調査方法:しがネット受付サービス(インターネット)によるアンケート調査

(3)実施時期:令和6年10月21日～令和6年11月29日

3 回答率

33.8%(230施設) ※うち3施設は処方箋調剤なし

4 結果

(1)後発医薬品の採用状況

1薬局あたりの後発医薬品の採用品目数は、令和2年9月と比べて、507品目から534品目に増え、採用医薬品に占める後発医薬品の割合は、38.8%から40.9%と2.1ポイント増加している。

(2)後発医薬品のシェアの把握

後発医薬品の数量シェアを把握している施設は89.4%であった。

一方、金額シェアを把握している施設は17.6%であった。

(3)応需した処方箋

薬局における1週間の応需処方箋について、全処方箋枚数のうち、後発医薬品への変更可能処方箋が占める割合は、令和2年度の81.2%と比べて88.6%と増加した。また、一般名処方の処方箋の割合は、令和2年度の64.8%と比べて79.1%と増加した。後発医薬品へ変更可の処方箋のうち、実際に後発医薬品に変更をした処方箋の割合は、令和2年度の78.8%から86.0%と増加した。一般名処方の処方箋のうち、後発医薬品の不足により先発品で調剤した処方箋は9.5%であった。

(4)後発医薬品の推進状況

後発医薬品を「積極的に説明している」と回答した薬局は、令和2年度の96.2%と横ばいの96.5%であった。

「積極的ではない」、「どちらとも言えない」理由としては、「供給に不安があるから」が一番多く、次いで「患者の希望があまりないから」などの回答があった。

(5)後発医薬品使用体制加算の算定状況

後発医薬品調剤体制加算は、「後発医薬品調剤体制加算3」が37.9%で最も多く、次いで「後発医薬品調剤体制加算2」が30.8%であった。「算定していない」施設は令和2年度の20.4%から14.1%と減少した。

(6)後発医薬品の説明時期(複数回答可)

後発医薬品を説明する主な時期は、「初回の来局時」と回答した施設が93.8%と最も多く、次いで「長期収載品の処方があった時(選定療養対象の時)」が88.1%、「新たな後発医薬品が販売された時」が82.8%であった。

(7)後発医薬品の説明内容(複数回答可)

後発医薬品の説明内容は、「窓口負担の軽減」と回答した施設が94.7%と最も多く、次いで「有効性、安全性など先発医薬品との同等性」が93.0%、「形や味、使用感などの工夫」が50.7%であった。

(8)後発医薬品の採用の際に重視すること(複数回答可)

後発医薬品を採用する際に重視することは「医薬品メーカー、卸売業者の供給体制が整備されていること」と回答した施設が79.7%と最も多く、次いで「先発医薬品と適応症が同じであること」が67.8%、「オーソライズドジェネリック(原薬、添加物および製法等が先発医薬品と同一のジェネリック医薬品)であること」が52.0%の順であった。その他の項目として、「会社の指示・推奨」(5.7%)が挙げられた。

(9)バイオシミラー(BS)の取扱状況

BSを取り扱ったことのある薬局は78.9%であった。

取り扱いのあった施設において取扱実績のある品目は、インスリングルルギン BS、インスリンリスプロ BS、インスリンアスパルト BS であり、インスリン製剤が上位3位を占めている。

(10)バイオシミラーを取り扱った経緯

また、BSを取り扱った経緯は、「バイオシミラーが処方箋に記載されていたから」と回答した施設が92.2%と最も多く、次いで「処方元病院等の採用薬がバイオシミラーに変更されたから」が30.2%であった。「患者希望(バイオシミラーを利用したい、窓口負担を減らしたい)」によって取り扱った施設は4.5%であった。

(11)バイオシミラーの相談・検討状況について

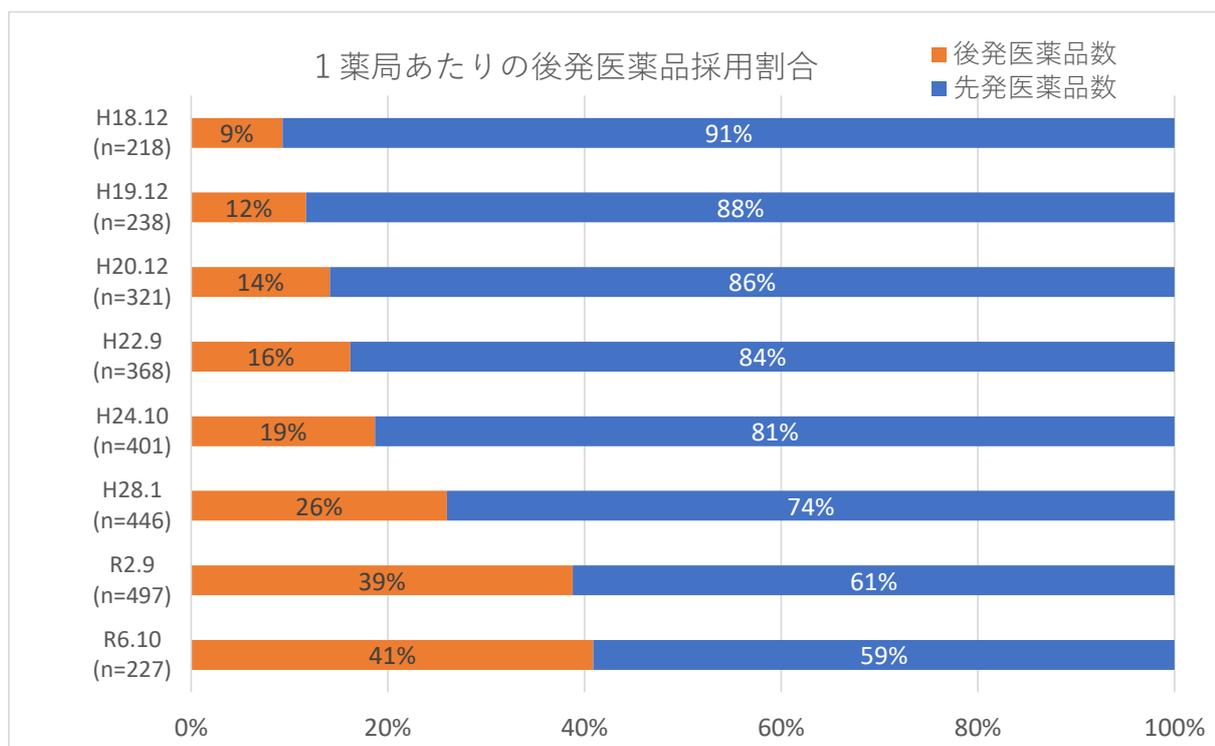
BSの取扱実績のない施設においては、93.8%で取り扱いの検討も相談もないと

いう回答であった。「バイオシミラーの取り扱いを検討したことがある」と回答した施設は6.3%であった。

また、BS を取り扱っていない理由として、「対象薬の記載された処方箋を受け付ける機会がない(または少ない)」、「注射剤の取り扱いがない(または少ない)」など需要がないという理由が最も多く、次いで、BS に関する知識不足、認知度の低さが挙げられた。他にも「製薬メーカーへの信用がないため」という回答があった。

薬局における後発医薬品の使用状況調査

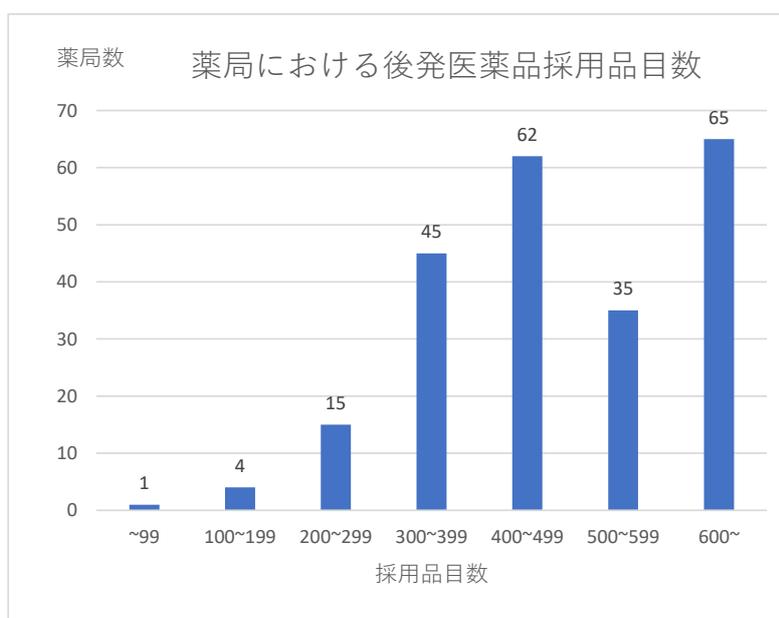
問1,2 薬局で採用している医薬品の全品目数およびその内の後発医薬品の品目数をお尋ねします。



1 施設あたりの後発医薬品採用品目数（平均）の推移

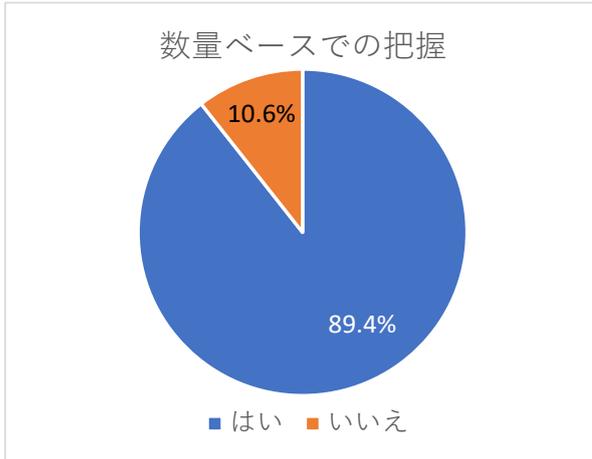
調査時期(年月)	H18.12	H19.12	H20.12	H22.9	H24.10	H28.1	R2.9	R6.10
回答数(施設数)	218	238	321	368	401	446	497	227
全医薬品数(品目)	863	876	951	988	1069	1156	1308	1306
後発医薬品数(品目)	80	102	134	160	200	300	507	534
後発医薬品採用割合 (%)	9.3	11.6	14.1	16.2	18.7	26.0	38.8	40.9

後発医薬品採用品目数	薬局数
~99	1
100~199	4
200~299	15
300~399	45
400~499	62
500~599	35
600~	65
平均値	534
中央値	479



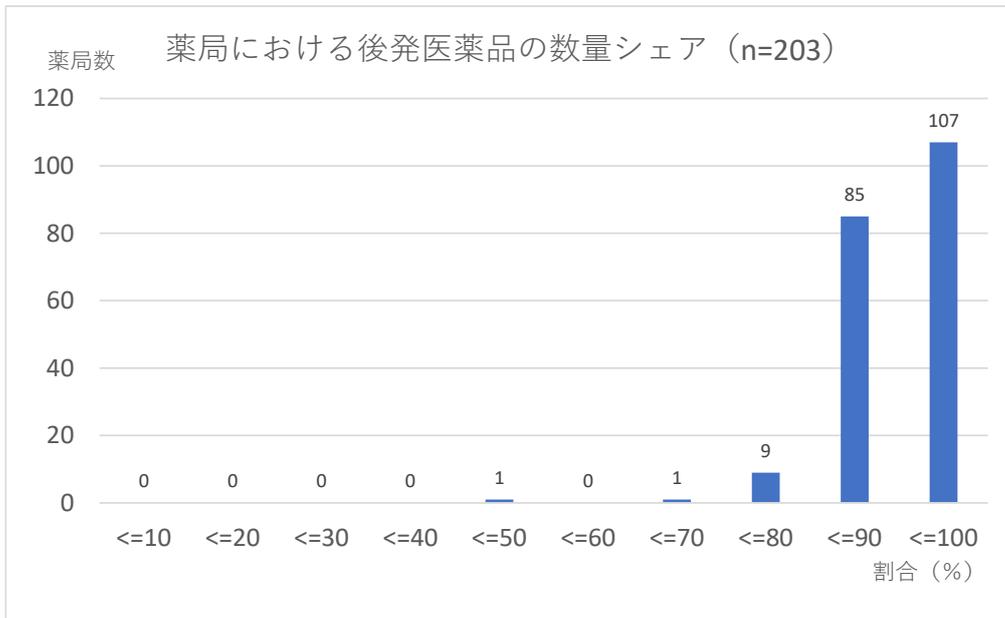
問3

薬局における数量ベースでの後発医薬品のシェアを把握していますか。
 *数量ベースでの後発医薬品のシェア=(後発医薬品の規格単位数量)
 ÷(後発医薬品のある先発品+後発医薬品の規格単位数量)



はい	いいえ
203	24
89.4%	10.6%

(処方箋数0の施設は除く)

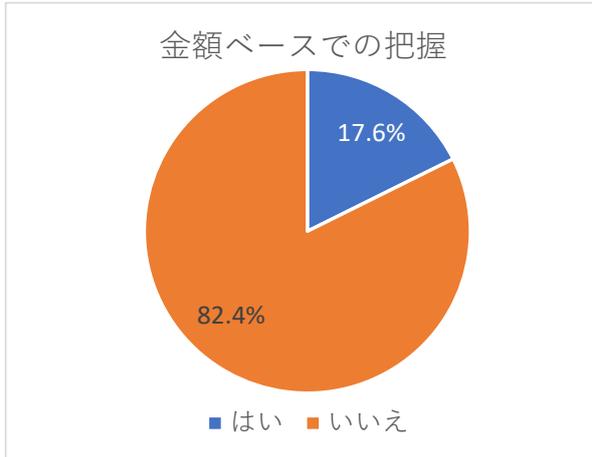


問4

薬局における金額ベースでの後発医薬品のシェアを把握していますか。

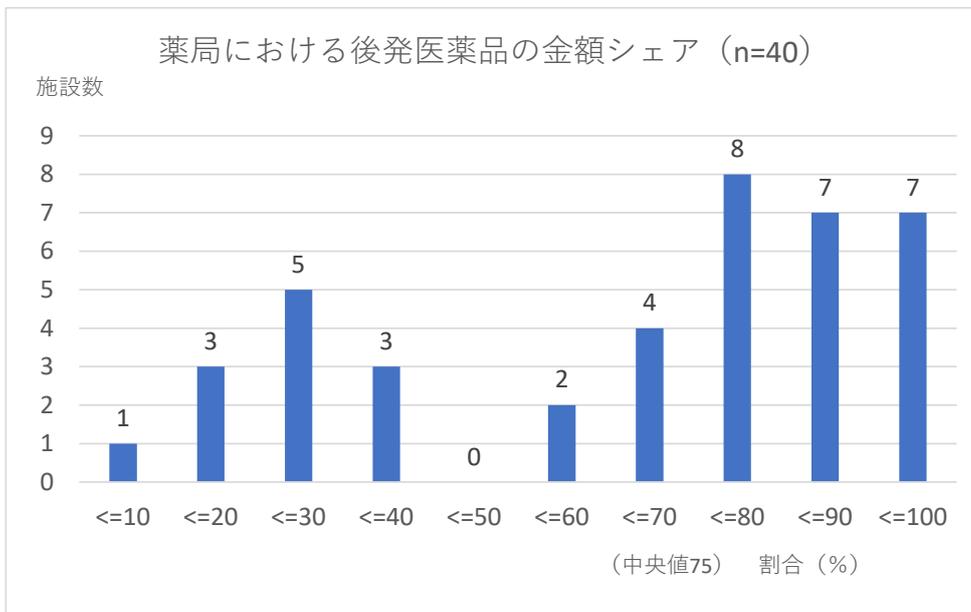
*金額ベースでの後発医薬品のシェア=(後発医薬品の金額)

÷(後発医薬品のある先発品+後発医薬品の金額) 薬価ベースで計算



はい	いいえ
40	187
17.6%	82.4%

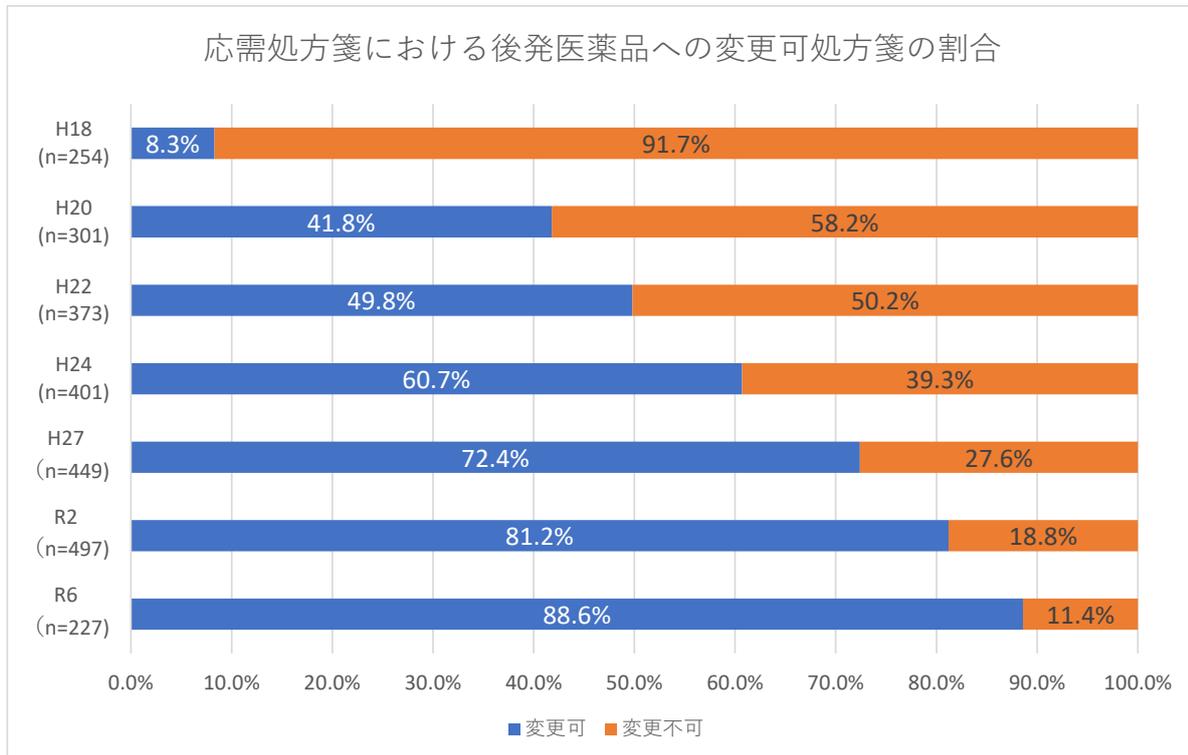
(処方箋数0の施設は除く)



問5 令和6年10月21日(月)から10月27日(日)までの1週間に応需した処方箋についてお尋ねします。

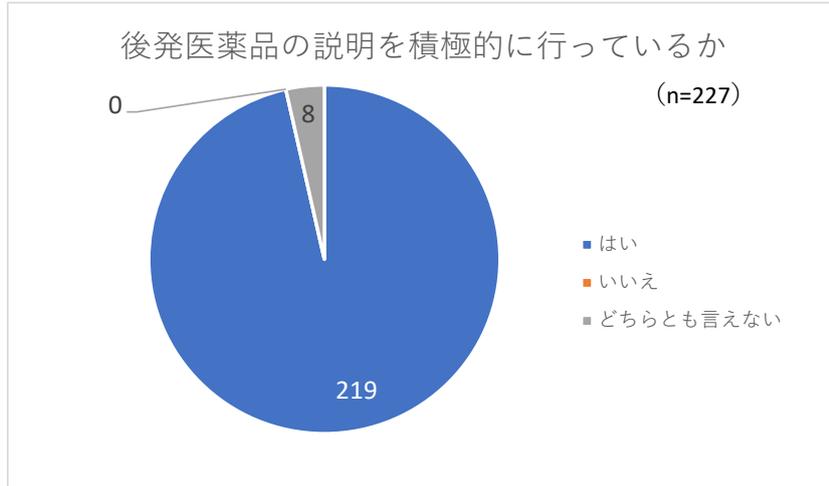
	令和6年10月の1週間 (n=227)	R2年(参考) (n=497)
① 応需した全処方箋枚数	306枚	250枚
② 一般名処方の処方箋枚数(1品目でも一般名が記載されていた場合を含む。)	242枚 (79.1%)	162枚 (64.8%)
③ 後発医薬品への変更可(後発医薬品への変更可欄に署名がないものの処方箋枚数)	271枚 (88.6%)	203枚 (81.2%)
④ 上記③のうち、実際に後発医薬品に変更した処方箋枚数(1品目でも変更した場合を含む。)	233枚 (③の86.0%)	160枚 (③の78.8%)
⑤ 上記②のうち、後発医薬品の不足により先発品で調剤した処方箋枚数(選定療養(患者希望)を除き、1品目でも先発品で調剤した場合を含む。)	23枚 (②の9.5%)	- (R6新設問)

※処方箋枚数の平均値



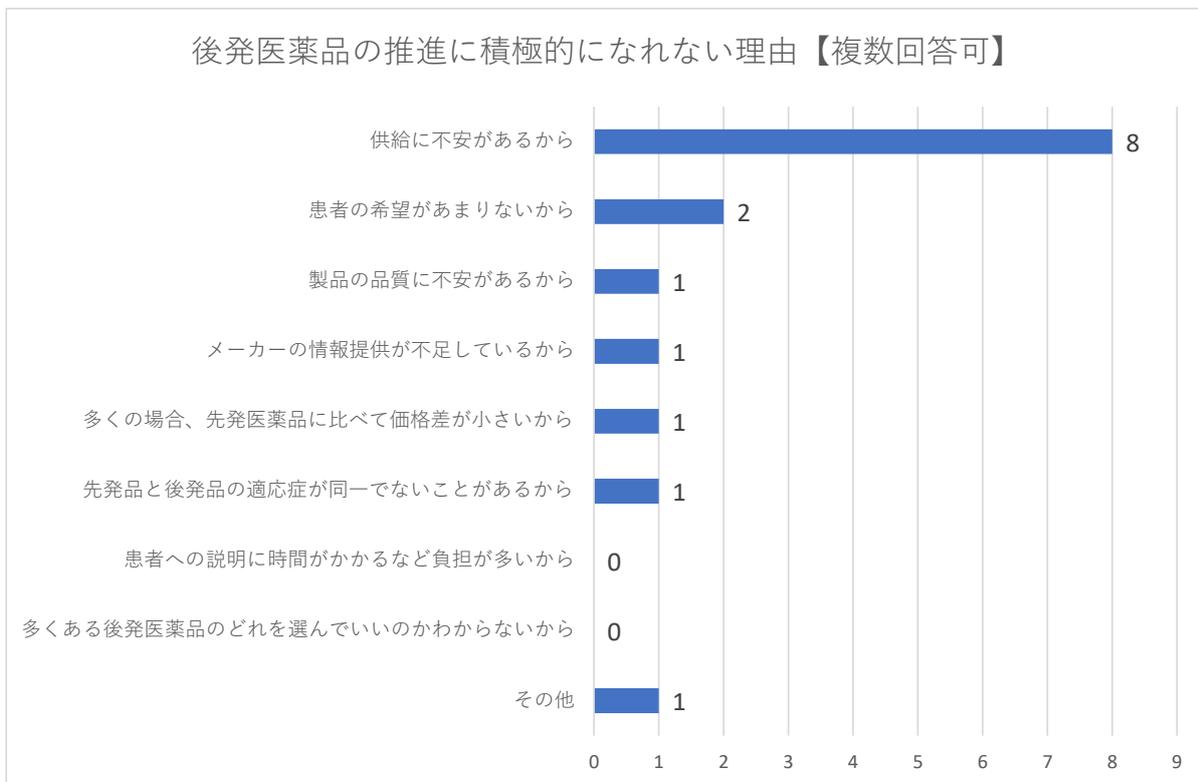
	H18 (n=254)	H20 (n=301)	H22 (n=373)	H24 (n=401)	H27 (n=449)	R2 (n=497)	R6 (n=227)
変更可	8.3%	41.8%	49.8%	60.7%	72.4%	81.2%	88.6%
変更可不可	91.7%	58.2%	50.2%	39.3%	27.6%	18.8%	11.4%

問6 後発医薬品への変更可の処方箋を受付けた場合に、後発医薬品の説明を積極的に行っていますか。



はい	いいえ	どちらとも言えない
219	0	8
96.5%	0.0%	3.5%

問6-2 問6で「2. いいえ」「3. どちらとも言えない」と回答した薬局にお尋ねします。後発医薬品の推進に積極的になれない理由は何ですか。【複数選択可】

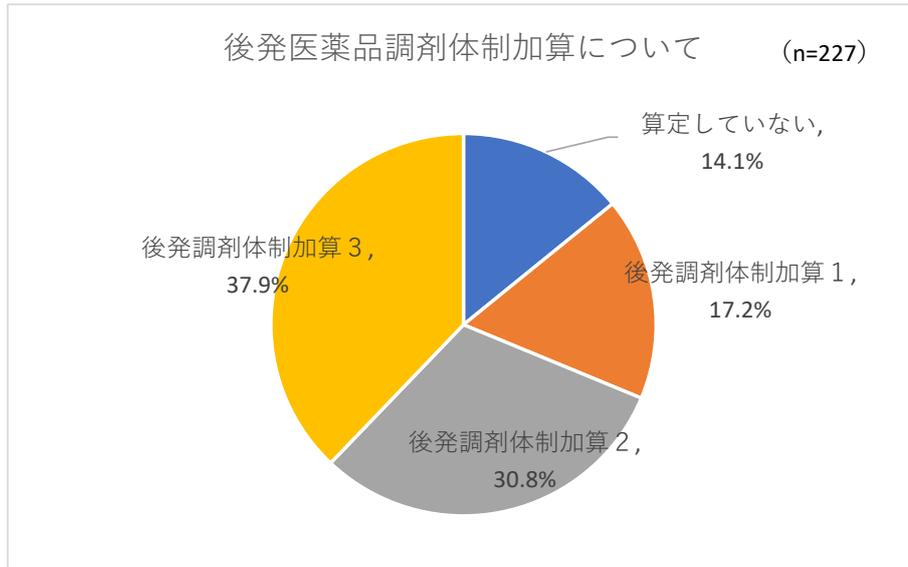


【その他】・固定の来局が多く後発品使用希望者が多いから

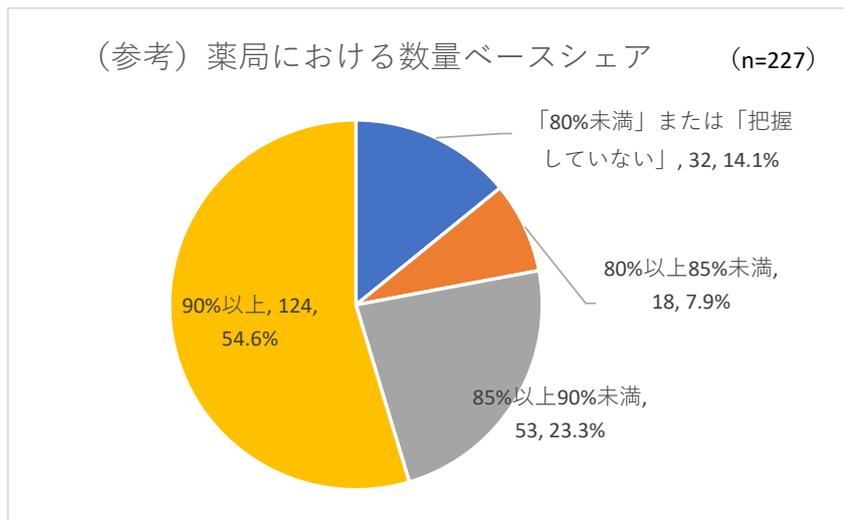
問7

後発医薬品調剤体制加算の状況をお尋ねします。※令和6年10月1か月間

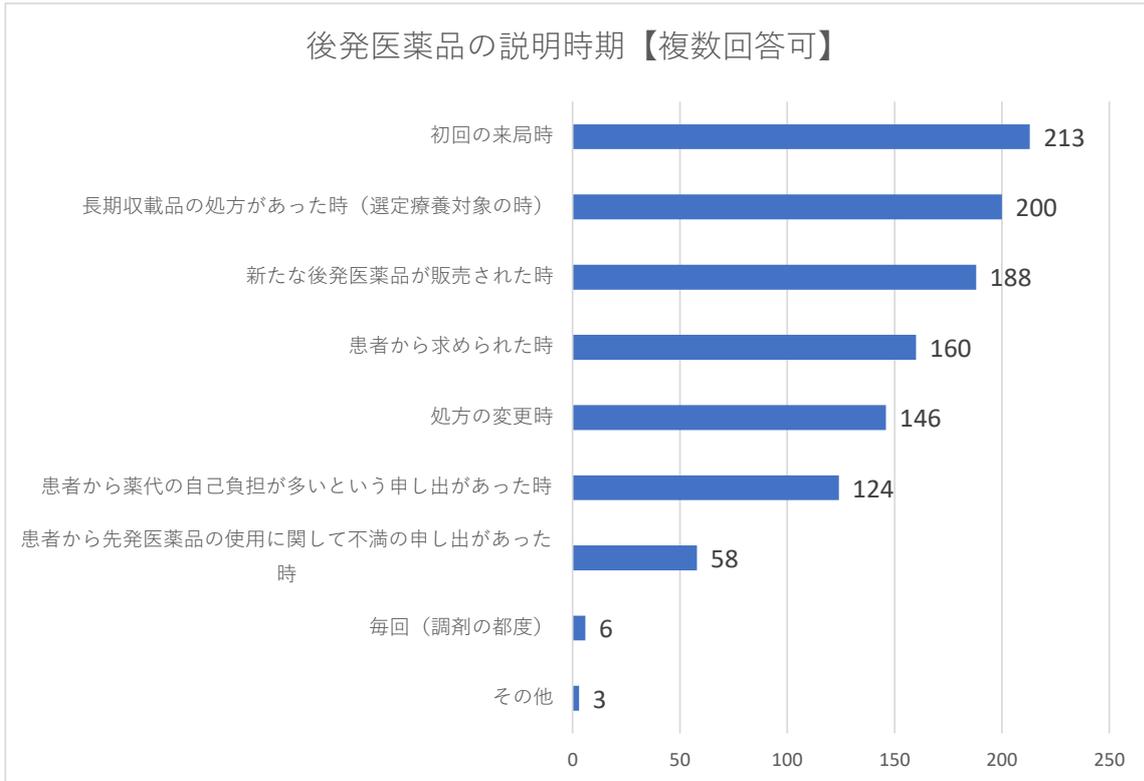
「後発医薬品調剤体制加算1」 後発医薬品の調剤数量が80%以上
「後発医薬品調剤体制加算2」 後発医薬品の調剤数量が85%以上
「後発医薬品調剤体制加算3」 後発医薬品の調剤数量が90%以上



	施設数	割合	R2年(参考)
算定していない	32	14.1%	20.4%
後発医薬品調剤体制加算 1 を算定している	39	17.2%	14.2%
後発医薬品調剤体制加算 2 を算定している	70	30.8%	27.6%
後発医薬品調剤体制加算 3 を算定している	86	37.9%	37.8%



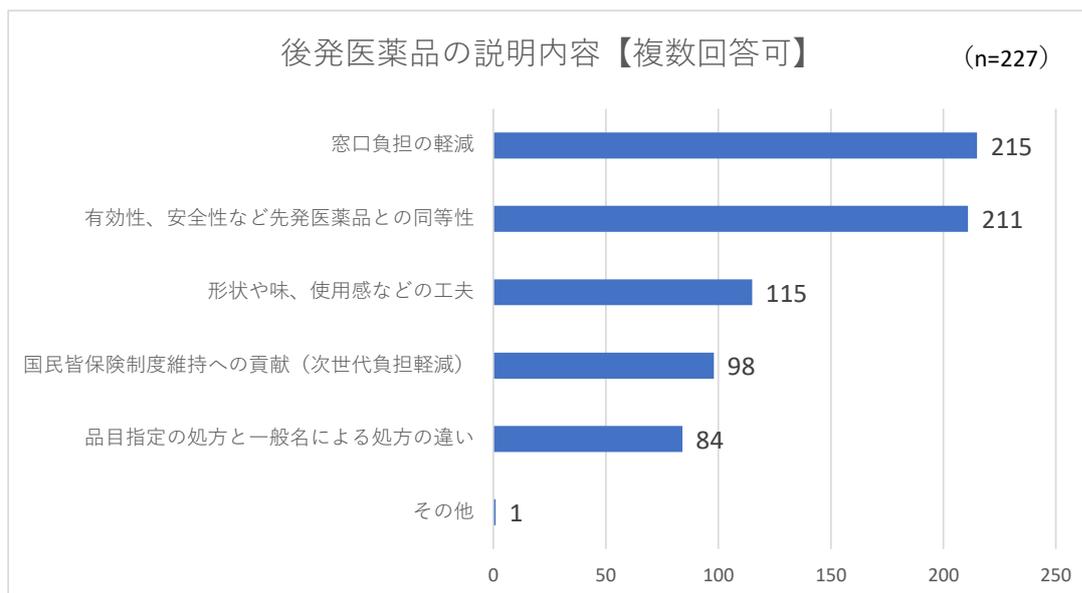
問8 後発医薬品の説明時期についてお答えください。【複数選択可】



- 【その他】
- ・お久しぶりの来局時
 - ・先発希望患者でも1年に1度はGE希望を確認している
 - ・数カ月に一度

	施設数	回答施設割合
初回の来局時	213	93.8%
長期収載品の処方があった時 (選定療養対象の時)	200	88.1%
新たな後発医薬品が販売された時	188	82.8%
患者から求められた時	160	70.5%
処方の変更時	146	64.3%
患者から薬代の自己負担が多いという申し出があった時	124	54.6%
患者から先発医薬品の使用に関して不満の申し出があった時	58	25.6%
毎回 (調剤の都度)	6	2.6%
その他	3	1.3%

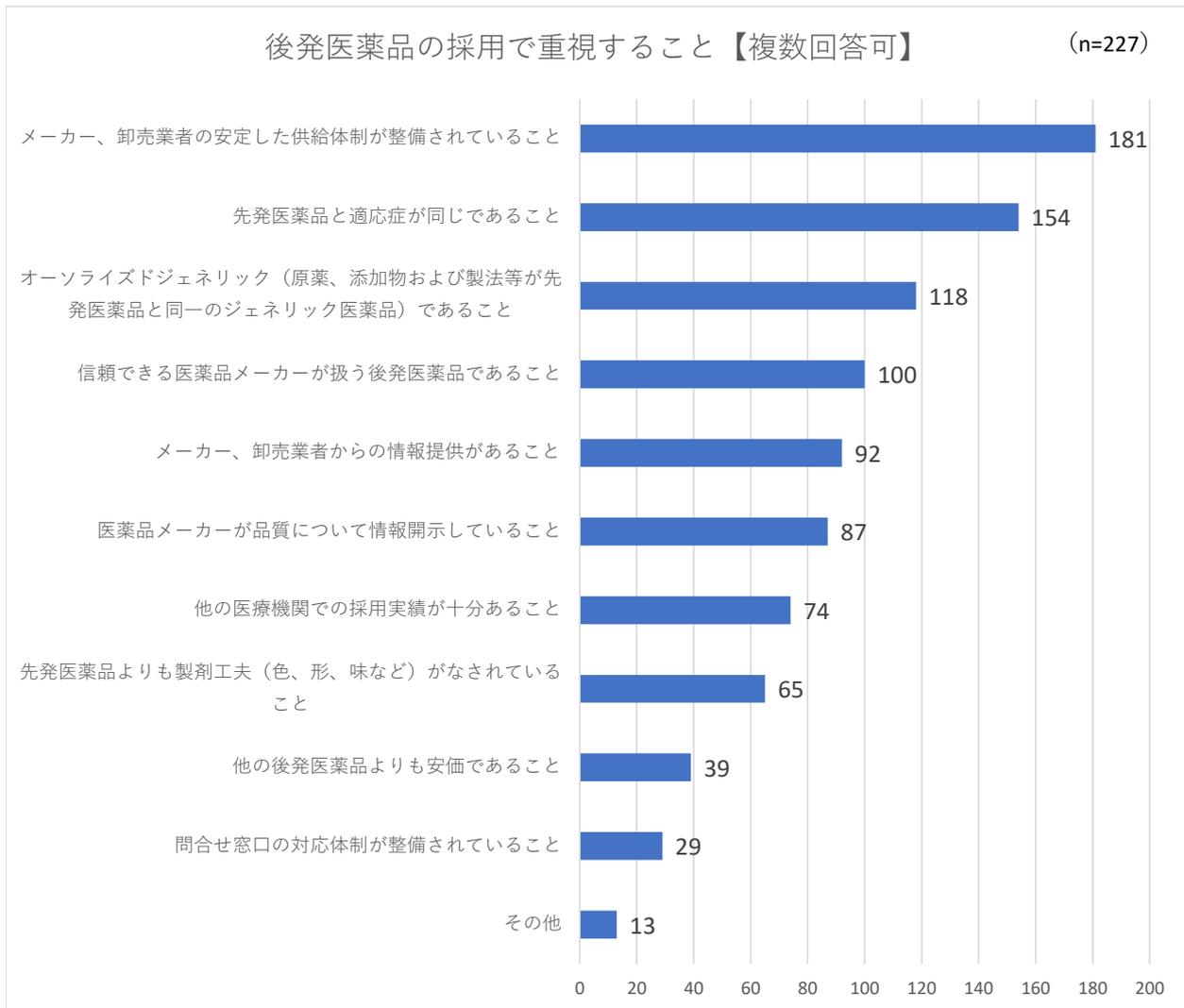
問9 後発医薬品の説明内容についてお答えください。【複数選択可】



【その他】・医療費削減

	施設数	回答施設割合
窓口負担の軽減	215	94.7%
有効性、安全性など先発医薬品との同等性	211	93.0%
形状や味、使用感などの工夫	115	50.7%
国民皆保険制度維持への貢献 (次世代負担軽減)	98	43.2%
品目指定の処方と一般名による処方の違い	84	37.0%
その他	1	0.4%

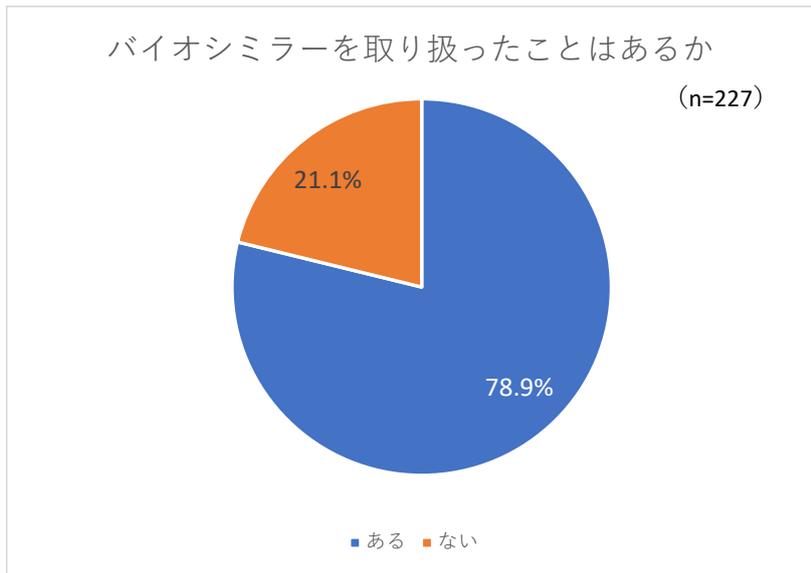
問10 後発医薬品を採用する際に重視することは何ですか。【複数選択可】



【その他】・本社推奨品、指定メーカーを優先する（13）

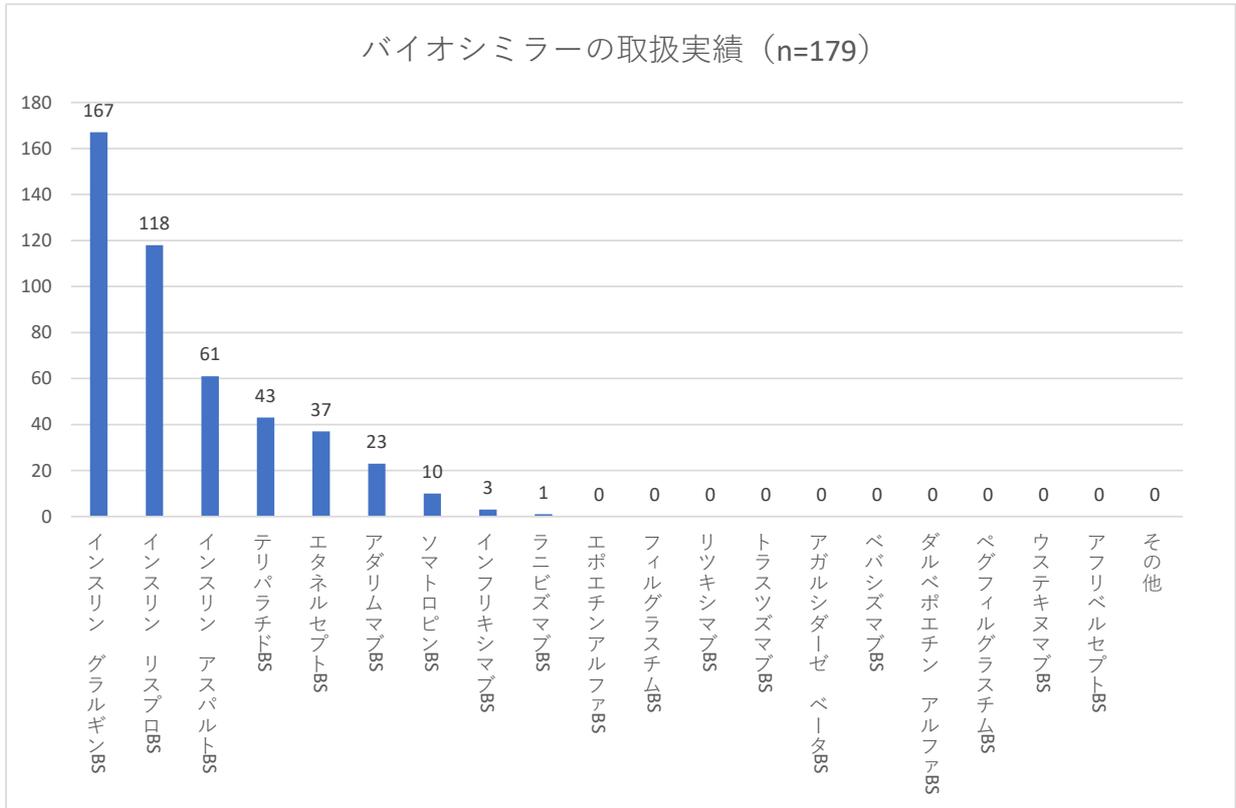
	施設数	回答施設割合
メーカー、卸売業者の安定した供給体制が整備されていること	181	79.7%
先発医薬品と適応症が同じであること	154	67.8%
オーソライズドジェネリック（原薬、添加物および製法等が先発医薬品と同一のジェネリック医薬品）であること	118	52.0%
信頼できる医薬品メーカーが扱う後発医薬品であること	100	44.1%
メーカー、卸売業者からの情報提供があること	92	40.5%
医薬品メーカーが品質について情報開示していること	87	38.3%
他の医療機関での採用実績が十分あること	74	32.6%
先発医薬品よりも製剤工夫（色、形、味など）がなされていること	65	28.6%
他の後発医薬品よりも安価であること	39	17.2%
問合せ窓口の対応体制が整備されていること	29	12.8%
その他	13	5.7%

問11 バイオシミラーを取り扱ったことがありますか。



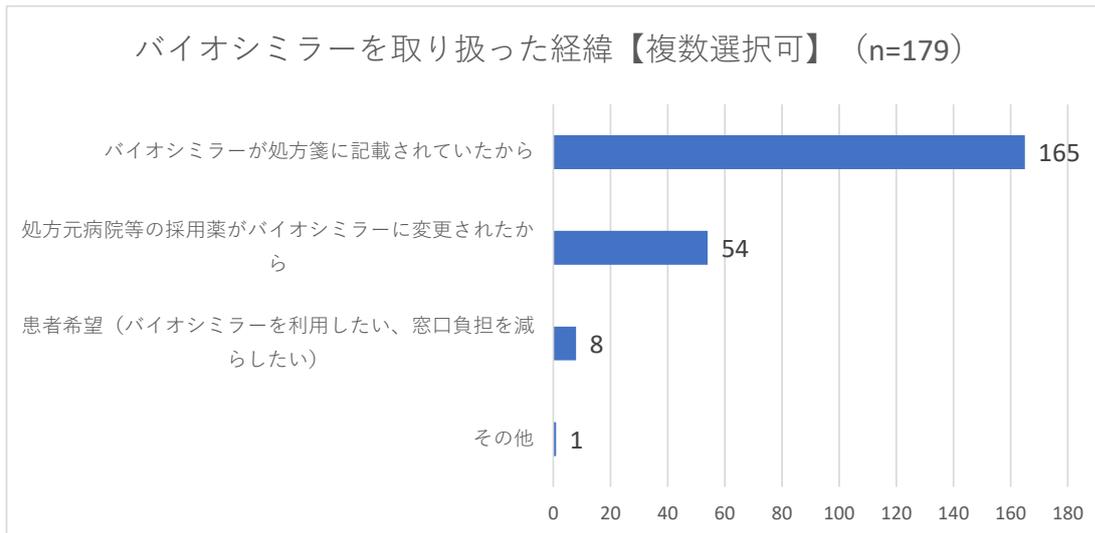
	ある	ない
施設数	179	48
割合	78.9%	21.1%

問11-2 問11で「1. はい」と回答した薬局にお尋ねします。取扱実績のある品目を教えてください。【複数選択可】



品目名	薬局数	種類	のべ薬局数
◎インスリン グラルギンBS	167	ホルモン◎	399
◎インスリン リスプロBS	118	融合タンパク質□	37
◎インスリン アスパルトBS	61	抗体△	27
◎テリパラチドBS	43	サイトカイン類★	0
□エタネルセプトBS	37	エリスロポエチン産生刺激製剤●	0
△アダリムマブBS	23	酵素■	0
◎ソマトロピンBS	10		
△インフリキシマブBS	3		
△ラニビズマブBS	1		
●エポエチンアルファBS	0		
★フィルグラスチムBS	0		
△リツキシマブBS	0		
△トラスツズマブBS	0		
■アガルシダーゼ ベータBS	0		
△ベバシズマブBS	0		
●ダルベポエチン アルファBS	0		
★ペグフィルグラスチムBS	0		
△ウスチキヌマブBS	0		
□アフリベルセプトBS	0		
その他	0		

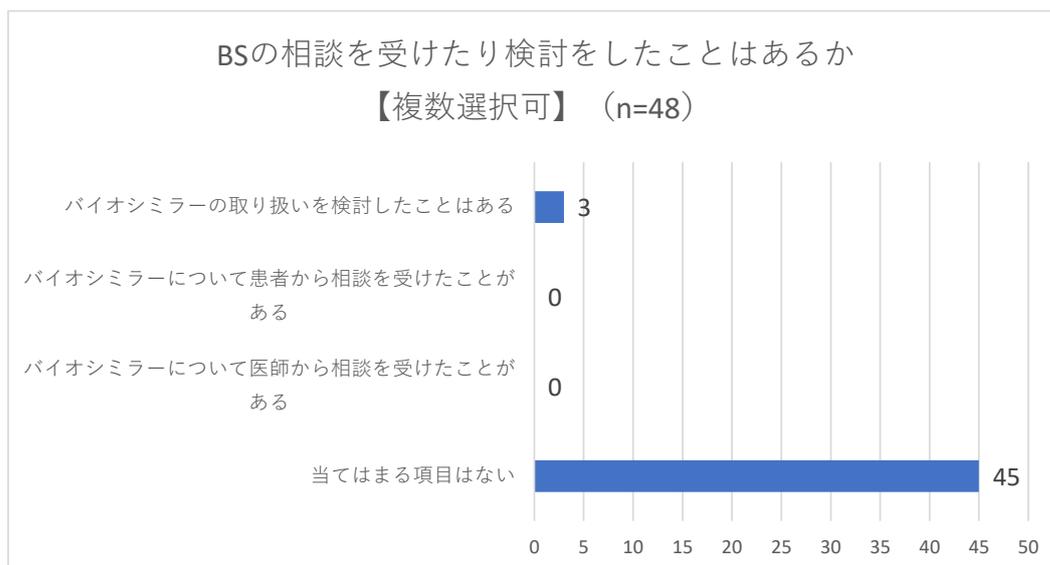
問11-3 問11で「1. はい」と回答した薬局にお尋ねします。
 バイオシミラーを取り扱った経緯について教えてください。【複数選択可】



【その他】・指定の薬剤の流通が止まってしまったから

	施設数	回答施設割合
バイオシミラーが処方箋に記載されていたから	165	92.2%
処方元病院等の採用薬がバイオシミラーに変更されたから	54	30.2%
患者希望（バイオシミラーを利用したい、窓口負担を減らしたい）	8	4.5%
その他	1	0.6%

問11-4 問11で「2. いいえ」と回答した薬局にお尋ねします。
 バイオシミラーの取り扱いについて、相談を受けたり検討をされたことは
 ありますか。【複数選択可】



	施設数	回答施設割合
バイオシミラーの取り扱いを検討したことはある	3	6.3%
バイオシミラーについて患者から相談を受けたことがある	0	0.0%
バイオシミラーについて医師から相談を受けたことがある	0	0.0%
当てはまる項目はない	45	93.8%

問11-5 問11で「2. いいえ」と回答した薬局にお尋ねします。
 バイオシミラーを取り扱っていない理由について教えてください。

【バイオシミラーを取り扱っていない理由】 (回答数)

- ・対象薬の記載された処方箋を受け付ける機会がない（または少ない） (40)
- ・医師、患者からの問合せがない (4)
- ・注射剤の取り扱いがない（または少ない） (3)
- ・患者、薬剤師、医師の知識不足など (3)
- ・製薬メーカーへの信用がないため (1)